

単元名

第3学年 NEW HORIZON  
Unit I Sports for Everyone

内容のまとめり

「話すこと [やり取り]」ア

指導の根拠

・「内容のまとめり」  
とは、学習指導要  
領に示す各教科  
等の「第2各学  
年の目標及び内  
容」の2内容の項  
目等を細分化し  
たり整理したも  
の

1 「話すこと [やり取り]」における第●学年の目標

日常的な話題や社会的な話題について、客観的な事実や様々な考え等に基づいた自分の意見や主張とその根拠等を、対話がより継続・発展するよう、聞き手の理解を促しながら、5往復程度の対話で話すことができる。

学習到達目標

・令和2年度小中英研作成「学習到達目標」より抜粋する。令和4年度は、文言の見直しを図り、改善する予定である。

2 単元の目標

障がい者スポーツについて、その意義や楽しさについて考えたり、相手のニーズに応じた提案をしたりする。また、自分の考えや意見を、相手等の情報を整理して、要点を捉えたり伝えたりすることができる。

内容面

・教師目線ではなく、生徒目線で言語活動を行う「目的・場面・状況」を想起できる文言を記載している。

書きぶり

・ここに示すのは、一例であり、これが全てではない。『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料』参照

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・【言語材料】の特徴やきまり、引用するための表現を理解している。 ・【話題】について【内容】を【言語材料】などを用いて【4技能5領域の詳細】技能を身に付けている。	【目的・場面・状況に応じて】ために、【話題】について、【内容】などを、【どのように】などして【4技能5領域の詳細】している。	【目的・場面・状況に応じて】ために、【話題】について、【内容】などを、【どのように】などして【4技能5領域の詳細】しようとしている。

～ようとしている

・『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料』79ページ熟読

4 主な言語活動における必要な力と留意点

【ディスカッション(ディベート)活動における必要な力】

- ①自分の立場(意見や根拠)を明確にすること
- ②自分の意見を聞き手の理解に応じて話すこと
- ③聞き取った内容を理解し、相手の意見の内容に応じて同意や反対をしたり、さらに付け足しをしたりして対話がより継続・発展するようにすること
- ④ ICTを用いて、自分の立場を有利にする情報を収集し、まとめ、活用すること

【ディスカッション(ディベート)活動における留意点】

- ①メモや書いた意見を参考にしながら話してよい。
- ②意見を支える理由を実生活と結び付けて考える。
- ③やり取りを円滑にする Idea Box やフレーズ集を使用してもよい。
- ④自分の意見と違う立場の意見を予測した意見を用意しておく。意見を有利にする(より主張ができる)情報を事前に得ておく。

必要な力と留意点

・令和2年度に作成した Ways No.61 の「単元構想図」に記載されている内容を基にして記載する。  
 ・主な言語活動とは、スピーチ/プレゼンテーション/ディスカッション(ディベート)の3つとする。

## 5 展開案を含む単元指導計画

時間	主な言語活動	備考	知	思	態
1					
2	<p><b>展開案</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各単元2つの展開案を作成している。</li> </ul>	<p><b>本時の課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>基本的に英語で記述している。</li> <li>枠線はテキストボックス二十直線</li> </ul>			
3	<p>「city life」と“country life”についての説明を聞く活動を通して、…</p> <p>①</p> <p>Let's discuss some social problems in groups!</p> <p>②</p> <p>③複数のペアでスピーチ練習を行う。</p> <p>④</p> <p>I think country life is better. We can enjoy fresh and healthy food. There is a lot of beautiful nature. If we live there, we can help each other. …</p>	<p>初見の短い英文を読む活動を継続的に行い、読む力を育成する。</p> <p>◆③において、「音声認識機能」を活用して、正しく発音ができているかを確認めるように促す。</p> <p><b>ICT 活用 ※必ず記載</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教師の立場で記述している。</li> <li>◆をICT活用マークとする。</li> <li>枠線はテキストボックス丸四角</li> </ul>			
4					
5					
6					
7	<p>①</p> <p>②</p>	<p><b>教科書の構成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>パート名を記載している。</li> </ul>			
8	<p><b>Unit Activity</b></p> <p>■写真や図表を参考にしながら、要点を把握し、その内容に対する賛否や自分とグループの考えを5文程度で表現することができる。</p> <p>①</p> <p>Which is better for watching movies, DVDs or theaters?</p> <p>②</p> <p>③</p> <p>We think DVDs are the best way to watch movies. First, most people can relax because they don't have to go out. (中略) Second, DVDs are cheaper than theaters. So we think this is the best way.</p>	<p>・単元を通じて、「聞き方」を掲示し、リポートを意識させ続ける。</p> <p>●②において、国を紹介する活動で学んだ「理由を付け加える」を思い出させ、内容面と表現面について指導する。</p> <p><b>※1年生部会のみ</b></p> <p><b>小学校における学習内容とのつながり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教師の立場で記述している。</li> <li>●を小学校想起マークとする。</li> <li>枠線はテキストボックス直線</li> </ul>			
9					
後日	ペーパーテスト・パフォーマンステスト				

(注1) 主な言語活動は多くても5つまでとした。その言語活動は「個別最適な学び」か「協働的な学び」のどちらであるかを意識し、それぞれの学びを一体的に充実させることを大切に指導する。

(注2) 主な言語活動を記載する際、主語は生徒とした。

(注3) ■…ねらい、丸数字…主な言語活動を示す。

(注4) 記録に残す評価を行わない時間がある。その際は例のように記した。

(注5) 備考[ICTの活用]を記載する際、文部科学省 ICT 活用教育アドバイザーが作成するホームページ「StuDX Style」などを参考にした。【例…「ポジショニング機能」を活用して、一人一人の考えの変化の大きさを把握する。】

(注6) 備考[小学校における学習内容とのつながり]を記載する際、語彙のみではなく、小学校で学習した「場面」と「表現」を想起できるように、小学校における指導内容を把握した。